

(1) 議案第25号 令和3年度使用中学校用教科用図書の採択について

① 国語について

- (事務局) 選定委員会での国語についての概要を報告
- (委員) 二次元コードとQRコードの違いは何か。
- (事務局) 教科書会社によって、記載され方が違う。使用の仕方は同じ。
- (委員) 二次元コードについてどのような違いがあるか。
- (事務局) 選定委員からは、学習の流れに沿って配置されているものと、学習の流れとは別に資料として掲載されているものがあるとの意見があった。
- (委員) 選定報告書に記載のある、配慮が必要とは、どのようなことか。
- (事務局) 使用の際に、新たにワークシートやプリント等の補足資料等が必要なものである。
- (委員) キャリア教育についての記載はあるか。(教科書を見て確認)
- (委員) 内容については差があるか。
- (事務局) 選定委員からは、光村と三省堂については甲乙つけがたいとの意見が出た。
- (委員) 総合的に見ていくと光村図書がふさわしいように感じた。
- (教育長) 光村図書でいいか。
- (委員) 賛成する。
- (教育長) では光村図書を採択する。

② 書写について

- (事務局) 選定委員会での書写についての概要を報告
- (委員) 中心線の有無はどうなっているか。(教科書を見て確認)
- (委員) 初めから中心線がある方が、指導しやすいのではないか。
- (委員) 手本の文字数や中心線など、生徒の使いやすい工夫がされており、教育出版がいいのではないか。
- (教育長) 教育出版でいいか。
- (委員) 賛成する。
- (教育長) では教育出版を採択する。

③ 地理について

- (事務局) 選定委員会での地理についての概要を報告
- (委員) ルビの多すぎる教科書は使用しづらいのではないか。(教科書を見て確認)
- (委員) 選定報告書にキャリア教育についての記載が多いのはなぜか。

- (事務局) キャリア教育は、新学習指導要領の大きな柱である。本市でも重点的に取り組んでいるため、研究委員会や選定委員会でも大切に考えたのではないか。
- (教育長) 帝国書院でいいか。
- (委員) 賛成する。
- (教育長) では帝国書院を採択する。

④ 歴史について

- (事務局) 選定委員会での歴史についての概要を報告
- (委員) 岡山県についての記載はどうか。
- (事務局) 各社ともに岡山県関連の記載がある。日本文教出版は他社と比較しても多くの記載がある。(教科書を見て記載内容について確認)
- (委員) 日本文教出版は岡山県の内容が多く扱われており、使用するのにふさわしいと感じた。
- (委員) 東京書籍も岡山県の内容が多く扱われており、使用するのにふさわしいと感じたが、日本文教出版の方がより使用しやすいと感じた。
- (委員) 一般の意見書も多くあったが、どうか。(記載内容について確認)
- (委員) キャリア教育の視点と掲載されているが、歴史とキャリア教育はどのようなつながりがあるか。
- (事務局) キャリア教育の視点の一つとして地域理解があるが、教科書の中に郷土調べ等の内容が掲載されている。
- (委員) 郷土理解の内容はよい。
- (教育長) 日本文教出版でいいか。
- (委員) 賛成する。
- (教育長) では日本文教出版を採択する。

⑤ 公民について

- (事務局) 選定委員会での公民についての概要を報告
- (委員) 記載によって差があるのでは。
- (事務局) 確かに同一内容でも、記述の分量や差がある。
- (委員) SDGs についての記載はどうか。(記載内容について確認)
- (委員) 日本文教出版はSDGs について分かりやすくまとまっている。
- (委員) キャリア教育についての記載はどうか。(記載内容について確認)
- (委員) 職業選択についての記載はどうか。
- (事務局) 日本文教出版については、「明日に向かって」や「職業について調べよう」の記載がある。

- (教 育 長) 日本文教出版でいいか。
(委 員) 賛成する。
(教 育 長) では日本文教出版を採択する。

⑥ 地図について

- (事 務 局) 選定委員会での地図についての概要を報告
(委 員) 領土についてはどのように記載されているか。(記載内容について確認)
(委 員) 地図帳は大きく見やすい方がよい。
(教 育 長) 帝国書院でいいか。
(委 員) 賛成する。
(教 育 長) では帝国書院を採択する。

⑦ 数学について

- (事 務 局) 選定委員会での数学についての概要を報告
(委 員) 全ての教科書を比較し、色や紙の質感など、啓林館がよいように感じた。
(委 員) 啓林館の教科書が後ろからも使用できるようになっている。これについて意見はあったか。
(事 務 局) 通常の内容と、発展的な内容が明確に分かれているため、扱いやすいのではないかとの意見が出た。
(委 員) 啓林館は数学を学ぶ意義を大切に扱っている。この面でもよいのではないか。
(委 員) 見やすさだけでなく、指導内容の部分も岡山県や玉野市が進める授業の流れに沿っているのではないか。
(教 育 長) 啓林館でいいか。
(委 員) 賛成する。
(教 育 長) では啓林館を採択する。

⑧ 理科について

- (事 務 局) 選定委員会での理科についての概要を報告
(委 員) QRコードの記載についてはどうか。(教科書を比較しながら協議)
(委 員) 東京書籍のサイズが珍しい。意図はあるか。
(事 務 局) 思考の流れが縦に示され、1ページでまとめるという意図があるのでないかとの意見が出ていた。

- (委員) 教科省図書の内容面の違いについてはどのような意見が出たか。
- (事務局) 啓林館及び東京書籍は特に内容が優れ、甲乙つけがたいとの意見が出た。
- (委員) 掲載されている写真や、資料等の見やすさに差は無いように感じる。
- (委員) 内容に差が無いのであれば、教師や生徒が使い勝手がいい方がいいのではないか。
- (教育長) 啓林館でいいか。
- (委員) 賛成する。
- (教育長) では啓林館を採択する。

⑨ 音楽（一般）について

- (事務局) 選定委員会での音楽（一般）についての概要を報告
- (委員) 開き方についての記載があったがどういうことか。
- (事務局) 教科書の綴じ方がちがう。教育芸術社は中とじで開きやすい作りになっている。（教科書を開き確認）
- (委員) 教育芸術社の学年によって段階的に指導できるようになっている工夫はよい。
- (教育長) 教育芸術社でいいか。
- (委員) 賛成する。
- (教育長) では教育芸術社を採択する。

⑩ 音楽（器楽）について

- (事務局) 選定委員会での音楽（器楽）についての概要を報告
- (委員) リコーダーの記載についてはどうか。（教科書を比較しながら協議）
- (教育長) 教育芸術社でいいか。
- (委員) 賛成する。
- (教育長) では教育芸術社を採択する。

⑪ 美術について

- (事務局) 選定委員会での美術についての概要を報告
- (委員) どの教科書も視覚的に鮮やかである。
- (委員) 地元関連の記載として、開隆堂には「宇野のチヌ」が掲載されていることは確認できた。日本文教出版にはどのような記載があるか。
- (事務局) 水戸岡鋭治氏について記載がある。岡山市内の電車やフェリーのデザイン等で知られている。

- (委員) QRコードにはどのような情報を見ることができるか。(教科書を比較しながら協議)
- (委員) 冊数構成はどうなっているか。(教科書を比較しながら協議)
- (委員) 日本文教出版が量としては十分な記載がある。
- (委員) 使用上の便宜を考えると、日本文教出版がいいのではないか。
- (教育長) 日本文教出版でいいか。
- (委員) 賛成する。
- (教育長) では日本文教出版を採択する。

⑫ 保健体育について

- (事務局) 選定委員会での保健体育についての概要を報告
- (委員) 防災教育についての記載はどうか。
- (事務局) 公衆衛生や、けがの手当に関連して、掲載されている。
- (委員) 学研の資料の量についてはどうか。
- (事務局) 選定委員からは、多いという意見と、ちょうどよいという意見の両方が出た。
- (委員) 先生方が使用しやすいと報告のある学研がよいのではないか。
- (教育長) 学研でいいか。
- (委員) 賛成する。
- (教育長) では学研を採択する。

⑬ 技術家庭(技術分野)について

- (事務局) 選定委員会での技術分野についての概要を報告
- (委員) 制約条件下の技術の最適化とはどういったものか。
- (事務局) 技術分野での製作について、時間や費用、材料等について適切に思考するとの意であることの報告を受けている。
- (委員) よりよいものをつくるための配慮とは何か。
- (事務局) 選定委員からは、物作りには、時間や費用、材料等に配慮が必要であり、東京書籍にはこれらを思考する部分が十分に記載されているとの意見が出た。
- (教育長) 東京書籍でいいか。
- (委員) 賛成する。
- (教育長) では東京書籍を採択する。

⑭ 技術家庭（家庭分野）について

- (事務局) 選定委員会での家庭分野についての概要を報告
- (委員) QRコードではどのような情報を見ることができるか。(教科書を比較しながら協議)
- (委員) QRコードはどのような場面での活用が考えられるか。
- (事務局) インターネット環境があればどこでも活用できる。授業中や家庭での使用が考えられる。
- (委員) 伝統文化についての記載はどうか。
- (事務局) 着物や和服、年中行事等の記載がある。
- (委員) (教科書を見て確認)
- (委員) キャリア教育についての記載はどうか。
- (事務局) キャリア教育の中で、職業だけでなく、家庭でどのように過ごし、暮らしを豊かにするのも大切な視点。その意味では、至る所に記載がある。
- (委員) 実習中に取り扱いやすい、教育図書出版がいいのではないか。
- (教育長) 教育図書出版でいいか。
- (委員) 賛成する。
- (教育長) では教育図書出版を採択する。

⑮ 英語について

- (事務局) 選定委員会での英語についての概要を報告
- (委員) 字の大きさや太さについてはどうか。(教科書を比較しながら協議)
- (委員) 見やすいことは大切である。
- (委員) 英語の5領域とは何か。
- (事務局) 5領域について説明。
- (委員) 小中の連携を考えると、三省堂がいいのではないか。
- (教育長) 三省堂でいいか。
- (委員) 賛成する。
- (教育長) では三省堂を採択する。

⑯ 道徳について

- (事務局) 選定委員会での道徳についての概要を報告
- (委員) 中にはジェンダーバランス等配慮が必要なものもあるように感じる。
- (委員) 道徳ノートについての取扱いはどのような意見が出たか。
- (事務局) 道徳ノートは、指導の焦点化や、指導記録の蓄積の意味で効果がある。一方で、書くことに捕らわれすぎることや、柔軟な展開がしにくいこ

となどが危惧されるとの意見が出た。

- (委 員) 東京書籍は、掲載されている話や、内容が豊富であるように感じる。
- (委 員) 東京書籍にある、心情円は小学校での活用例もある。非常に有効なものである。
- (教 育 長) 東京書籍でいいか。
- (委 員) 賛成する。
- (教 育 長) では東京書籍を採択する。

(2) 議案第26号 令和3年度使用玉野市立学校特別支援学級用教科用図書採択について

- (事 務 局) 視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者用の教科用図書として、文部科学省著作教科書、学校教育法附則9条一般図書に該当する本について、本市でも、児童・生徒の実態に応じて必要であれば使用できるようにしていきたい。検討いただきたい。
- (委 員) (知的障害者用教科用図書の教科書を見て確認。)
- (委 員) 具体的にどのような取扱いになるか。
- (事 務 局) 知的学級の児童・生徒の実態に応じて使用が考えられる。本教科書を使用する場合は、通常の教科用図書は使用しない。
- (教 育 長) 特別支援学校用教科書を採択してよいか。
- (委 員) 賛成する。

(3) 議案第27号 令和3年度使用高等学校用教科用図書採択について

- (事 務 局) 玉野商工高等学校及び玉野備南高等学校の2校より、教科用図書選定委員一覧表及び、教科用図書選定理由書について検討いただきたい。
- (委 員) 教科用図書選定理由書を見て確認。
- (教 育 長) 両校の教科用図書を採択してよいか。
- (委 員) 賛成する。

- (教 育 長) 以上で教科書採択を終了する。

(いずれも承認)

5. 閉会